

ネットワークを利用した天体望遠鏡の遠隔制御

宇宙の遠方で起こるガンマ線バーストの発生源やその起源を探ることを目的として、バースト直後の可視光残光の自動観測システムの開発を行っています。

- ・ Linux PC による天体望遠鏡の制御と冷却CCDカメラからの画像取得
- ・ 携帯電話を用いた、遠隔制御システム
- ・ 雨滴センサを用いた、観測屋根の自動開閉システム



観測衛星 (Swift, INTEGRAL, HETE)

天体望遠鏡

(MEAD社, LX200GPS-30)



NASA

Internet

RS232C

Linux PC

RS232C

PIC

観測屋根の自動開閉 (モータ)

携帯電話



雨滴センサ



冷却CCDカメラ
(SBIG社, ST9XE)

